



福島県農業

No. **548**

題字 福島県知事 佐藤 雄平



4

2010

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■出 番 待 ち



平成22年度予算の概要について

福島県農林水産部長 鈴木 義仁

陽春の候、皆様方には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
ご承知のとおり、県土の七割を占める森林は、二酸化炭素の吸収により地球温暖化の防止に寄与するとともに、全国に誇れる水環境の保全、山地災害の防止、県民の憩いの場としての森林空間の創出など、県民に心の潤いをもたらす貴重な財産であります。

しかしながら、長期的な木材価格の低迷や農山村の過疎化・高齢化等を背景に、必要な手入れが行われない森林が増加し、森林の荒廃が懸念されるなど、森林の持つ公益的な機能の維持、確保が困難な状況となっており、

このような状況の中、県では、本年三月に、農林水産業を取り巻く情勢の変化や、現在直面するあるいは今後見込まれる政策課題に適時的確に対応し、将来にわたり夢と希望の持てる農林水産業と農山漁村を築き上げていくことを目指し、新たな農林水産業振興計画「いきいき、ふくしま農林水産業振興プラン」を策定いたしました。森林・林業の分野におきましても、「魅力ある農山漁村の形成」、「林業・木材産業の振興」、「安全・安心な農林水産物の提供」、「自然・環境との共生」の施策の基本方向に基づいた各種取り組みを重点的かつ総合的に推進してまいります。

また、平成一八年度から県民の皆様のご理解のもと導入させていただいた「森林環境税」の貴重な財源を活用し、荒廃が懸念される水源区域の森林整備をはじめ、間伐材の利活用、森林環境学習や森林ボランティア活動の支援、さらには、市町村がそれぞれの地域で行う里山林の保全など特色ある活動の支援について、平成二二年度も引き続き取り組んでまいります。

さらに、新年度においては、低炭素社会の実現に向け、これまでの森林整備等に加え、新築木造住宅への県産木材の利用拡大を一層推進するほか、ペレットストーブ使用による二酸化炭素削減量をクレジット化し、新たな森林整備につなげるカーボンオフセットなどの取り組みを推進していくこととしております。

森林を始めとする本県の豊かな自然環境を、未来の子供達に美しいまま引き継ぐことができるよう、森林整備を進めるとともに、持続可能な森林経営の確立を目指して林業・木材産業の振興に努めてまいりますので、皆様方の一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

《も く じ》

とびら	木材市況・ふくしま東西南北…………… 9
平成22年度予算の概要について	みどりの少年団コーナー……………10
福島県農林水産部長 鈴木 義仁…………… 1	木連だより……………11
今年の県林業予算…………… 2～7	森林管理署メモ……………12
普及指導員通信…………… 8	はなしのひろば……………13

■今年の県林業予算

もり 森林づくりの計画・調整

▼森林計画課

森林計画課は、地域森林計画関係（市町村森林整備計画、森林施業計画、森林審議会、国有林野に関する連絡調整など）、森林環境税や森林整備加速化・林業再生基金を財源とした施策の総合調整、森林整備地域活動支援交付金事業及び森林林業関係各課の調整業務を担当しています。

■平成二二年度予算（一般会計）

○県総予算（一般会計）

九〇二、二二〇百万円
（対前年比一〇三・一割）

○農林水産部予算（一般会計）

五九、七九〇百万円
（対前年比八九・五割）

○森林林業関係予算（一般会計）

一五、五四七百万円
（対前年比九五・一割）

■森林環境税を財源とする事業

―森林環境基金事業―

福島県では、豊かな自然環境や良好な生活環境を将来にわたって維持し、次の世代に引き継いでいくため、平成一八年四月から森林環境税

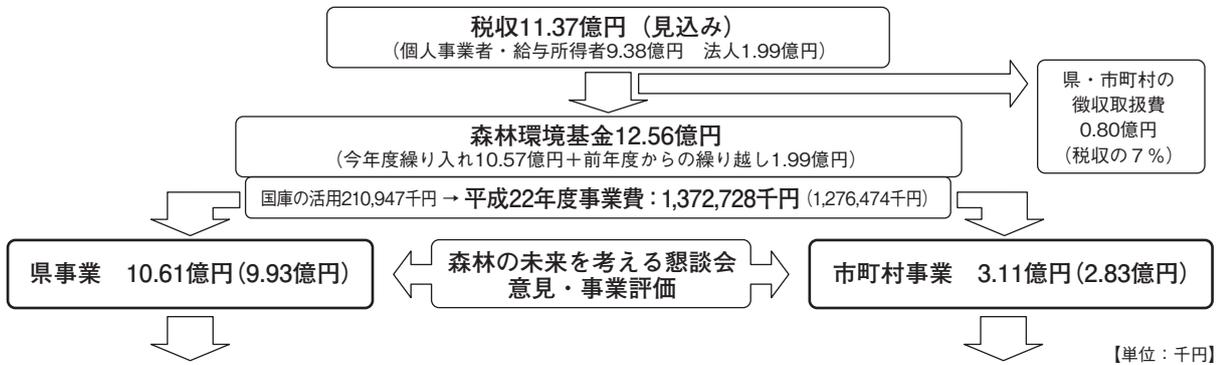
を導入し、森林所有者や林業の枠組みを超えた県民参画による森林づくりの施策を展開しています。

森林環境税は、水源のかん養等の森林の持つ公益的機能を確保することが県民生活にとって重要であることから、森林環境の保全と森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成に関する施策の財源として、県民税均等割に加算する方式で納めていただいています。

納めていただいた税金は、使途が特定されることから、「森林環境基金」を設け、税収から賦課徴収経費を差し引いた額を積み立てて活用しています。また、事業実施にあたっては、第三者機関である「森林の未来を考える懇談会」の意見を聴いたり県ホームページで事業の実施状況を公表するなど、透明で公正な執行に努めています。

なお、現行の課税期間が平成二二年度で満了することから、今年度は平成二三年度以降の森林環境税の在り方を決定することとしています。

平成 22 年度森林環境基金事業の枠組み(当初予算)



【単位：千円】

森林環境を保全するための事業 986,505 (962,106)	森林づくりの意識を醸成するための事業 74,859 (30,927)	森林環境を保全するための事業 233,414 (205,250)	森林づくりの意識を醸成するための事業 77,950 (78,191)
①森林環境の適正な保全 918,581 (917,348) ・水源区域の森林整備 ・森林GISの整備による森林情報 の高度化、共有化 ②森林資源の利用促進 67,924 (44,758) ・間伐材の搬出・運搬支援及び 利用促進 (パレットストープの導入等) ・園芸ハウス等への木質パ レット加温装置の導入 ・(新)カーボンオフセット普 及促進事業 ・(新)低炭素型ふくしま県産 材住宅促進モデル事業 ・(新)カーボン・オフセット 森森元気事業 ・(新)パレットストープオ フセットクレジット活用事業	③県民参画の推進 27,107 (18,573) ・森林環境学習に必要なフィール ドの整備、指導者の養成 ・森林ボランティアの養成、森林ボ ランティアサポートセンターの運営等 ④森林文化の復興 41,055 (5,405) ・県内の森林文化を調査し、普 及・定着を図る ・ふくしま森林文化企画展の開催 ⑤森林環境の調査研究 1,498 (2,295) ・木質バイオマスの利用 ⑥森林環境基金の運営 5,199 (4,654) ・森林環境基金事業に対する県民 の理解を深めるための広報、懇 談会の開催等	森林環境交付金事業 【地域提案重点枠】 212,974 (187,000) ・市町村独自の優れた提案事業 に重点的に取り組む財源 (事業の対象分野) ア 森林整備の推進 イ 県産間伐材の利活用推進 ウ 木質バイオマスの利活用 推進 エ その他 森林整備促進事業 20,440 (18,250) ・市町村有林等の整備を支援	森林環境交付金事業 【森林環境基本枠】 77,950 (78,191) ・全ての市町村が継続的に森林 づくりに取り組む財源 (事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進

() は前年度当初

当初予算額は一三億七、二七二万八千円で農林水産部五課室、生活環境部二課、土木部及び教育庁各一課の計九課が担当します。事業の概要は、図のとおりです。このうち、森林計画課が実施する森林環境基金事業は次のとおりです。

①ふくしまの森林文化復興事業

平成二二年六月二六日から八月二二日の期間に、県内文化施設等（まほろん、福島県立博物館、福島県文化センター歴史資料館、アークアマリンふくしま、フォレストパークあだたら）で開催予定の森林文化に関する企画展運営経費等 四一、〇五五千元

②森林環境適正管理事業

森林GISを活用したインターネット上での森林情報の受発信等 一〇、七五五千元

④森林環境基金運営事業

森林の未来を考える懇談会の運営、森林環境税関連施策の広報広聴等 五、一九九千元

⑤森林環境交付金事業

市町村が地域の実情に応じて行うきめ細かな森林づくりを支援 二九〇、九二四千元

■地域森林計画の編成

地域森林計画は、森林の持つ多面的な機能が十分に発揮されるよう、

森林の保全や健全な森林整備の目標などの基本的な事項等を明らかにするとともに、市町村及び森林所有者等に森林施業上の指針及び規範を示し、その適切な施業の確保を図るため、民有林を対象として五年ごとに一〇カ年計画を策定するものです。

本年度は、奥久慈地域森林計画を樹立するほか、次年度の会津地域森林計画の樹立に向け南会津農林事務所管内の民有林に関する調査を行います。 三一、〇四八千元

■森林整備地域活動支援交付金事業

森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図る観点から、施業の集約化に必要な「森林情報の収集活動」を支援するとともに、施業の実施に不可欠な「施業実施区域の明確化作業」、「歩道の整備等」などの地域活動を支援します。

①「森林情報の収集活動」への支援

森林施業計画の認定を受けていない私有林のうち一定の条件を満たした人工林において、施業の集約化に必要な森林情報の収集活動を林業事業体等が実施する場合に交付金を市町村から交付します。

②「施業実施区域の明確化作業」などへの支援

森林施業計画の認定を受けた私有林のうち一定の条件を満たした

育成林において、森林施業の実施に不可欠な「施業実施区域の明確化作業」、「歩道の整備等」などを森林所有者等が実施する場合に交付金を市町村から交付します。

③「森林情報の収集活動及び境界の明確化等」

施業集約化・供給情報集積事業が実施されている森林において、境界の明確化を図らなければ施業の集約化や施業の実施が困難な森林を対象に、境界の明確化及び森林情報の収集活動を林業事業体等が実施する場合に交付金を市町村から交付します。

④「境界の明確化」

施業集約化・供給情報集積事業が実施されていない森林において、境界の明確化を図らなければ施業の集約化や施業の実施が困難な森林を対象に、境界の明確化活動を林業事業体等が実施する場合に交付金を市町村から交付します。

⑤「森林の被害状況等確認」

森林施業計画の認定を受けた森林において、被害状況等の確認のための現地踏査を森林所有者等が実施する場合に交付金を市町村から交付します。

森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう森林施業計画の

策定と併せて、森林整備地域活動支援交付金事業への取り組みを推進し、計画的な森林整備の実施を支援します。 七八、二六〇千元

■森林整備加速化・林業再生基金事業

間伐及び路網整備、伐採から搬出・利用の一貫した取組による間伐材のフル活用、地域木材・木質バイオマスの利用を地域で一体的に進めることを目的に平成二二年度国一次補正予算により創設されたもので、以下の事業を実施します。

①森林整備加速化・林業再生協議会運営事業

市町村や森林組合等林業事業体、木材加工業者等で構成する協議会が行う、効果的な事業実施のための調査・調整・計画策定等に対して支援します。 七、四二二千元

②間伐対策事業

立地条件が不利なために長期にわたって整備の行われていない森林を対象に市町村、森林組合等が行う間伐に対して支援します。 二六〇、三九八千元

③路網整備事業

間伐や間伐材の活用のために市町村、森林組合等が行う林内路網の整備について支援します。 二二七、七二〇千元

④森林境界明確化事業

森林の境界が不明であることに起因して間伐が進まない森林において、市町村、森林組合等が行う境界明確化活動に対して支援します。

⑤里山再生対策事業

里山再生のために市町村、森林組合等が行う森林病虫害等被害対策、広葉樹林等の再生（獣害対策を含む）等について支援します。

⑥木材加工流通施設等整備事業

間伐材等の加工流通施設の整備について市町村を通じて支援します。

⑦木造公共施設等整備事業

地域材を利用した公共施設等の整備について市町村等に対し支援します。

⑧木質バイオマス利用施設等整備事業

間伐材の安定取引協定に基づく木質バイオマス利用施設の整備について市町村等に対し支援します。

⑨間伐材安定供給コスト支援事業

未利用間伐材等の燃料用への供給利用促進のため、福島県素材流通機構を事業主体として、木質燃料用チップ原木の搬出・運搬に要する経費の一部を支援します。

⑩利子助成事業

間伐材の安定取引協定に基づき、素材生産業者等が運転資金を借り入れた場合に、その利子を助成します。

⑪地域材利用開発事業

地域材を利用した新製品等の開発について市町村を通じて支援します。

■低炭素社会に向けた森林づくり

森林の持つ二酸化炭素吸収機能の維持増進を図るため、これまで各種事業等により森林整備を進めてまいりました。平成二二年度からはこれまでの取り組みに加え、林業関係者以外の森林整備活動の促進のため、以下の取り組みを実施します。

①福島県森林整備活動による二酸化炭素吸収量認証制度

企業・団体等が社会貢献活動として行う森林整備について、その活動による二酸化炭素の吸収量を認証します。

②カーボンオフセット森森（もりもり）元気事業（森林環境基金事業）

企業・団体等が社会貢献活動として行う森林整備を促進し、森林の持つ機能の維持増進を図るとともに、地域観光と連携した取り組みとすることで地域活性化を図ります。

県産材フル活用の促進

▼林業振興課

林業振興課は、県産材のフル活用を進め木材の流通量を拡大し、森林所有者の利益を確保することにより経営意欲を向上させ、持続可能な林業の再生を図ります。

また、新たに、「低炭素社会づくりの推進」や「きのこの六次産業化」に向けた事業を展開します。

■高性能林業機械を主体とした新しい施業体系の導入

高性能林業機械の導入を支援し、ニーズに応じた素材の集出荷を図るための効率的な作業システムの構築



高性能林業機械による造材作業

を促進します。また、林業への新規就業の促進や、林業事業者への社会保障拡充支援、林業労働者への能力向上支援など、総合的な森林整備担い手対策を展開します。

■各種施設の導入等による県産材の利用促進

製材品の安定供給に必要な木材加工施設、木質バイオマスボイラー利用施設、県産材を利用した公共施設の整備に対する支援等により、県産材のフル活用をすすめます。

■未利用間伐材等の利用の推進

間伐材の搬出支援や、燃料用木質バイオマスの需要拡大、民間企業等による新製品の開発支援等の実施により、未利用資源の有効活用に取り組みます。

■低炭素社会づくりの推進

県産材による木造住宅の建設を促進するため、セミナーやワークショップ等の普及啓発活動を実施します。また、ペレットストーブ使用による二酸化炭素排出削減量を、オフセットクレジット（J-VÉR）制度に基づくクレジットとして販売

四五、〇〇〇千円

一、三二一十千円

し、地域の森づくりに活用する事業に取り組みます。

なお、当課の予算の概要は、次のとおりです。

① 低炭素社会づくりの推進

四、九三九千円

- ・ 緑の住宅普及支援事業
- ・ ペレットストーブオフセットク

レジット活用事業

② 特用林産の振興

一七、八七八千円

- ・ きのこ六次産業化事業
- ・ 県さのこ振興センター運営事業

③ 林業構造の改善

一八七、四七〇千円

④ 高性能林業機械導入の支援

一八二、二九四千円

⑤ 林業労働力の育成・確保

一二九、六二九千円

- ・ 林業新規就業支援事業
- ・ 林業労働者等研修事業等

⑥ 林業・木材産業金融の充実

九四一、三二〇千円

⑦ 林業技術の普及指導

六、三一六千円

⑧ 林業試験研究施設の管理運営

六二、五七九千円

⑨ 森林環境基金関係事業

四七、三五八千円

- ・ 木とのふれあい創出事業
- ・ 間伐材搬出支援事業
- ・ 間伐材利用促進事業

⑩ 森林整備加速化・林業再生基金事業

四七四、一七四千円

- ・ 木材加工流通施設等整備事業
- ・ 木造公共施設等整備事業
- ・ 間伐材安定供給コスト支援事業等

多様な森林の整備と保全・

森林づくり運動の推進

▼ 森林整備課

森林整備課は、造林・種苗、森林保護、県営林管理、森林環境基金による森林整備事業、森林づくり運動の推進等を担当しています。

近年、森林吸収源対策の観点等から、適正な森林整備が強く求められ

ていますので、国庫補助金や県の森林環境基金等の財源を有効に活用し、積極的な森林整備に取り組むこととしています。

また、「県民の森」を始めとする森林とのふれあいの場や県民参加に

よる緑化活動と森林づくり運動を支援し、森林を県民全体で支える意識の醸成に取り組むこととしています。

なお、当課の予算概要は、次のとおりです。

■ 多様な森林の整備

① 一般造林事業

六一一、六五二千円

- ・ 間伐等

② 林業公社事業資金

二、一八八、八二九千円

- ・ 林業公社の運営等

③ 造林推進事業

一九、〇七二千円

■ 優良種苗の確保

① 育種育苗事業

三二、八〇〇千円

② 森林病虫害等防除事業

- ・ 松くい虫の防除

一一二、七〇五千円

薬剤防除・伐倒駆除・樹幹注入

ほか

- ・ カシノナガキクイムシ対策

被害木の伐倒駆除

■ 県営林管理

① 県営林の保育管理事業

七〇、五〇五千円

- ・ 間伐等

■ 森林とのふれあい・緑化活動の推進

① 総合緑化対策事業

九、七三四千円

② 森林総合利用対策事業

三、七七〇千円

③ 森林とのふれあい施設管理事業

九五、五八八千円

■ 森林環境基金事業

① 森林整備事業

九二八、二六六千円

- ・ 森林整備事業（県営事業）

間伐等 二、一七五千円

- ・ 森林整備促進事業（補助事業）

間伐等 一、三〇〇千円

② 森林環境学習推進事業

五、六七八千円

③ 森林ボランティア総合対策事業

八、六四九千円

④ もりの案内人等指導者養成事業

三、四八六千円



▲県民参加の森林づくり

森林・林業、山村を支える林道事業

▼林道整備課

林道整備課は、森林の有する多面的な機能（木材生産、水源かん養、県土保全、地球温暖化防止等）を持続的に発揮させるための基盤施設である林道や作業道等の整備を進めています。林道・作業道が一体となった林内路網は、施業集約化など効率的な森林施業を行う上で欠かせないものです。

平成二二年度の林道予算については、政権交代による事業仕分けの影響などにより、例年にないプロセスを経たものの、事業廃止となった「森



▲板庭入宝坂線

林居住環境整備事業」の里山エリア再生交付金事業において、施設整備の継続地区完了へ向けた予算の確保、県代行二路線の新規採択や森林整備加速化・林業再生基金事業（路網整備事業）への重点配分など、実のある予算配分をすることができました。

また、国の経済危機対策のきめ細かな臨時交付金を活用した一五ヵ月予算により、平成二二年度当初予算の一部を平成二二年度一月、二月補正で前倒しして予算措置しました。今後引き続き、地域の方々に親しまれる林道を目指し、効率的・効果的な事業執行に努めてまいります。

平成二二年度予算（事業費）

三、二二六、七〇二千元

■公共事業

一、七六六、五〇〇千元

①森林居住環境整備事業

一、三〇四、七〇〇千元（一月補正含）

②森林管理道整備事業

二二一、三〇〇千元

③山のみち地域づくり交付金事業

一三〇、〇〇〇千元

④林道改良事業

一〇、二〇〇千元

⑤林道舗装事業

一〇、三〇〇千元

■県単事業

八二一、六四八千元

①県単林道事業

八三、六四八千元（二月・三月補正含）

②ふるさと林道緊急整備事業

七三八、〇〇〇千元（二月補正含）

■路網整備事業関連

二五一、八二〇千元

①森林整備加速化・林業再生基金事業（路網整備事業）
二二七、七二〇千元

②間伐材搬出支援事業（林内作業路整備支援事業）
二四、一〇〇千元

安全で快適な県土形成のために

▼治山対策課

治山対策課では、安全で快適な県土形成のための治山事業に関する業務、保安林制度を通じた保安林の適正管理に関する業務、民有林の森林を開発する際の審査・指導を行う林道開発許可制度に関する業務を行います。

◆治山事業による県土の保全

治山事業は、民有保安林の維持造成を通じて、山地に起因する災害から県民の生命・財産を保全するとともに、水源のかん養、生活環境の保全・形成を図り、安全で安心できる豊かな暮らしの実現を図るうえで不可欠な事業です。

平成二二年度の治山事業は、被災地の復旧や予防、森林の機能強化などの事業を効果的に実施し、山地災

害に対する減災対策を図るとともにコスト縮減等に積極的に取り組み効率的な予算の執行に努めます。

県単独治山事業については、国庫補助事業に採択されない被災地の復旧及び予防が必要な地区のうち、緊急性や優先度を総合的に勘案し、箇所毎の優先順位を適正に定め順次執行していくこととしています。

全庁的に展開している「地産地消の推進」については、県産間伐材を利用した森林土木工法の推進や平成一四年度から導入している治山ダムの間伐材型枠工等により、平成二二年度の木材使用目標量を二、〇〇〇立方メートル以上としています。

また、山地防災情報の周知などソフト対策の拡充のため、森林GIS



▲鬼越地内（いわき市）の復旧対策状況

■災害関連治山費

⑤地すべり防止事業

二〇四、六七四千元
二二二、三八三千元

④保安林整備事業

一七五、〇三〇千元

③防災林造成事業

二五二、八二九千元

②水源地域整備事業

一、四三二、二七九千元

①山地治山事業

二、二九六、一九五千元

■公共事業費

二、二九六、一九五千元

を活用し、最新の山地災害危険地情報（報を県民に提供することにより、防災意識の高揚や避難体制の整備に活用され、減災効果に寄与することを期待します。



▲木製水路と木柵

■治山災害復旧費

四八、〇〇〇千元

④県単治山調査事業

九、五一三千元

③保安林整備事業

二、〇五五千元

②治山施設事業（補助）

二七、一八一千元

①治山施設事業（県営）

六七、九一七千元

■県単治山費

一〇六、六六六千元

②林地崩壊対策事業

六、八二九千元

①災害関連緊急治山事業

三六三、〇〇五千元

二六九、八三四千元

◆安全で快適な暮らしを守る保安林の管理と適正な林地の利用と森林パトロールの実施

現在、県内には国有林と民有林合わせて森林面積の約三八割、約三六万鈔が保安林に指定されています。

水源のかん養や山地災害の防備・生活環境の保全形成等、私たちが安全で快適に暮らせるように、特に重要な森林を保安林として指定し保全するとともに、伐採の規制と適切な施業を実施することなどにより適正に管理し、森林の機能の維持増進を図るものです。

また、森林の保全や適正な利用促進のために森林パトロールを実施します。さらに、森林において土石を採掘したり、林地以外に転用する行為は、無秩序に行われると森林の働きが損なわれ災害が発生するおそれがあることから、林地開発許可制度による審査や指導を行います。なお、重要な事項を審査する場合は、外部意見の聴取のために森林審議会森林保全部会を開催します。

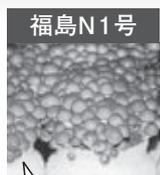
①保安林整備委託事業 一一、一七七千元

②保安林整備管理事業 一四、九〇〇千元

③森林保全管理事業 七、七三七千元

きのこで地域を元気に (財)福島県きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)



安定多収量



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録出願中)



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富



○その他各種種菌

○菌床 ・シイタケ
・ハタケシメジ
・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org

普及指導員通信

木材需給動向と採材技術等に関する研修会の開催

■県中農林事務所

森林資源は年々充実しており、育てる林業から利用する林業への転換期を迎えています。

県においては県営林を有し、市町村においては市町村有林や財産区有林などを有しており、今後はこれら所有林から収益を得る段階になります。

また、森林組合は、組合員の所有する森林を集約化し、いかに低コストで多くの収益を上げるかをコーディネートする役割がますます求められます。

このようなことを背景に、市町村職員や森林組合の職員・作業班員を対象として、また、我々普及指導員の自己研鑽を兼ね、「木材需給動向と採材技術等に関する研修会」を2月25日に石川町内で開催しました。

木材需給の動向や採材技術等について普及指導協力の湯田文郎氏に講義いただき、木材市況や立木評価の手法、安全な伐木方法について担当普及指導員による講義を行った後、現地に移動し、実際に立木を伐倒、3つのグループごとに採材方法を検討しました。その後、グループの検討結果を発表し、湯田氏の講評をいただきながら意見交換を行いました。

今回の研修により、採材技術等が十分に身に付いたとは考えていませんが、市町村や森林組合、そして我々、それぞれの立場で、森林を見る目が少し変わるのではないかと期待しているところです。

（林業普及指導員 丹治 俊宏）



室内での研修



現地での研修

いわき産しいたけの消費拡大について

■いわき農林事務所

今回紹介するのは、農事組合法人いわき菌床椎茸組合の取り組みです。同組合はいわき農林事務所管内のエリンギ生産者や小規模しいたけ生産者、建設業からの新規参入者など8名で構成され、平成20年7月に設立されました。管内の生しいたけ生産量は20tで、年々減少し、菌床生しいたけの生産はありませんでした。このような中、安全・安心でかつ消費者の多様なニーズに対応するため、平成21年度に、森林・林業・木材産業づくり交付金を活用し、年間200t生産の菌床しいたけ施設をいわき市渡辺町に整備しました。

平成21年11月末に竣工し、菌床しいたけ生産はスタートしました。生産開始に合わせ、22名を雇用し、4月からは、さらに、新規高卒者19名を雇用する計画です。

3月19日には、生産開始100日を迎え、スパリゾートハワイアンズで、関係者約170名が参加して落成式

及びしいたけふれあいまつりが行われました。

ふれあいまつりでは、同組合が生産した「いわきゴールドしいたけ」を使って、しいたけのグリル、和風しいたけパスタ、しいたけと卵のスープ、しいたけ丼等、様々なかたちで調理されました。「いわきゴールドしいたけ」は肉厚でしっかりとした菌ごたえがあり、出席者からは大変美味しいと好評でした。

食の安全・安心や地産地消が県民の関心事であることから、いわき産しいたけの需要は今後、ますます高まるものと期待されます。同組合の「いわきゴールドしいたけ」に懸ける思いは大変熱く、管内はもとより、県内・全国で消費されることを期待しています。

皆様も、ぜひ一度、「いわきゴールドしいたけ」を御賞味ください。

（林業普及指導員 民安 義仁）



落成式で記念収穫する関係者



しいたけのグリル

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(2月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8(8~9)	0	(~)	-	7(5~8)	0	8(5~9)	0
		10~13		並	スギ	10(9~11)	0	8(8~8)	0	8(7~10)	0	9(7~11)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	12(11~13)	0	11(11~12)	0	11(11~11)	0	11(11~13)	0
				並	ヒノキ	19(16~21)	0	(~)	-	18(16~21)	△1	18(16~21)	△1
		6.00	並	スギ	18(16~20)	0	18(18~18)	0	15(14~16)	0	17(14~20)	0	
			並	ヒノキ	24(24~24)	0	(~)	-	24(22~27)	△1	24(22~27)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	14(12~17)	0	12(11~12)	0	11(11~12)	△1	12(11~17)	0	
		4.00	並	アカマツ	9(8~11)	0	10(10~10)	0	10(10~11)	△1	10(8~11)	0	
		1.80	並	アカマツ	7(5~9)	0	(~)	-	8(8~9)	0	8(5~9)	0	
	外材	30以上	10.0	並	米ツガ	(~)	-	(~)	-	23(23~24)	0	23(23~24)	0
並				米マツ	26(24~28)	0	26(26~26)	0	25(23~26)	0	25(23~28)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(~)	-	(~)	-	23(21~25)	△1	23(21~25)	△1	
			並	ベニマツ	28(28~28)	0	22(22~22)	0	21(21~21)	△1	23(21~28)	△1	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(~)	-	(~)	-	(~)	-	(~)	-
				並	アガチス	(~)	-	(~)	-	(~)	-	(~)	-
パルプ用材	-	-	並	マツ	(~)	-	(~)	-	6(6~6)	0	6(6~6)	0	
			並	広葉樹	(~)	-	(~)	-	6(6~6)	0	6(6~6)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(~)	*	9(8~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(~)	*	8(7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	(~)	*	11(10~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

一月の原木市場への入荷状況は、前月比で一九割増(前年比一一割減)の二五、六七九立方メートルとなっている。伐採適期により各市場での素材の流通量は、やや増もしくは横ばいの傾向である。二月の価格については、弱保合である。



21世紀記念公園「麓山の杜」

知れた桜の名所です。春に花見を楽しむのももちろんのこと、公園内の遊具も充実しており、また「開拓者の群像」という塔の下から水が流れ出し、

水遊びも楽しむことができます。お弁当を持って、親はまつたりと、子供はアクティブに一日中過ごすことができる公園です。次に、二世紀記念公園「麓山の杜」。県合同庁舎からほど近い公園で、平日の昼休みには作業服を着てウォーキングを楽しむ人も見かけます。公園内には緑の相談コーナーやカフェが入居する「とんがりふれあい館」があり、その周囲には人が入れる人工池もあります。小さい子供なら夏にはちよつとしたプール代わりに利用できま

まず、開成山公園。ここは言わずと知れた桜の名所です。春に花見を楽しむのももちろんのこと、公園内の遊具も充実しており、また「開拓者の群像」という塔の下から水が流れ出し、

水遊びも楽しむことができます。お弁当を持って、親はまつたりと、子供はアクティブに一日中過ごすことができる公園です。次に、二世紀記念公園「麓山の杜」。県合同庁舎からほど近い公園で、平日の昼休みには作業服を着てウォーキングを楽しむ人も見かけます。公園内には緑の相談コーナーやカフェが入居する「とんがりふれあい館」があり、その周囲には人が入れる人工池もあります。小さい子供なら夏にはちよつとしたプール代わりに利用できま



郡山市の公園事情

県中農林事務所森林林業部 林業課

村上 香

四年前の春、郡山市への移住を考え、タクシーを使って、アパート探しをしていた時のこと。タクシーの運転手さんから、「郡山市の前市長は『公園市長』と呼ばれていたほど在任中に公園をたくさん整備したから、郡山市は小さなお子さんを育てるにはいいところだよ」というお話を伺いました。そして、現在。たしかに郡山市には至る所に大小様々な公園があり、一歳と四歳の遊び盛りの子供を持つ親としては、子供を連れて行く場所に悩むことはなく、大変助かっています。

最後に平成記念・郡山こどものもり公園。昔の棚田を利用した段々の広場、大きな遊具のあるもりの広場など自然を満喫できる公園です。また、公園のすぐそばを新幹線が通り、本物のMaxやまびこやつばさなどが目の前を走るので、子供達は大興奮です。

みどりの少年団コーナー
No. 177



いよいよ桜の花も咲き、新緑の美しい季節を迎えました。

各学校では新学期も始まり、緑の少年団では、新団員を迎え入団式、結団式が行われていることと思います。

希望に胸ふくらませている団員達の活躍と、一年間の活動による成長ぶりを期待したいものです。

さて、四月は少年団の活動の初めとして、緑の募金活動が始まります。各地域では、街頭に立つての募金活動が行われると思いますが、県民の



方々に広く緑の大切さを訴え、募金活動への協力を呼びかけて欲しいものです。

緑の募金は、直接、植樹や育樹活動のできない方も、募金という形で緑化運動に貢献できるものです。

県民の皆さまにいただいた募金は、募金した方に代わって、ボランティア団体等が植樹や育樹活動を行うための資金や緑化の苗木の購入等にあらわれるからです。

緑の少年団の皆さんに特にお願いしたいのは、学校募金の取り組みです。団員以外の児童の皆さんにも森林の果たす役割や緑の大切さを知っていただき、それを守り育てるための募金であることを理解していただきたいのです。

また、緑の少年団の活動経費への助成や、少年団員に貸与している帽子やスカーフ等の購入代金にも、緑の募金が充てられておりますので、学校募金活動の取り組みをお願いいたします。

○緑の少年団の主な行事

活動実績発表大会

五月二六日（水）九時三〇分から郡山市にある福島県林業研究センターで開催する予定です。各学校か

らの要望で開催時期を例年より遅くしましたが、活動実績の取りまとめや発表の準備を早めに行うようお願いいたします。

この大会で優秀な成績をおさめた少年団を、全国緑の少年団活動実績発表大会に本県代表として推薦いたします。本県の緑の少年団活動は全国でも高い評価を受け、最近では連続して、全国育樹祭の際に開催される全国大会で発表されていますので、本年も全国大会に出席できるようなんばって欲しいものです。多くの団の参加を期待しています。

なお、当日、緑の少年団育成協議会も開催する予定ですので、育成会のメンバーの出席についてもよろしくお願いいたします。

福島県緑の少年団大会

七月二七日～二八日に、昨年と同様に猪苗代町を会場に開催いたします。式典は猪苗代町立総合体育館、交流体験活動は国立磐梯青少年交流の家とその周辺地域等で実施します。交流体験活動では、自然観察会や木工クラフト、キャンプファイヤーなどが行われるよう計画しています。

四月に参加募集を行います。本年も宿泊組と日帰り組とに分けて募ります。

宿泊は磐梯青少年交流の家となります。食事や入浴などはこの施設の利用上の注意を守っていただくこととなります。

多くの団員の参加を希望いたします。

このほか、学校単位の参加になりますが、花いっぱいコンクールや学校環境緑化コンクール、学校林活動コンクールなど顕彰事業があります。

緑の少年団活動を広く皆さんに知っていただくためにも、また団員の励みのためにも、積極的に参加してはいかがでしょうか。

緑の少年団の更なるご活躍を期待しております。



自然観察会

木連だより

事務所内に 木造住宅モデル 展示でPR



県木連内のモデル展示（全景）

林業会館二階、福島県木材協同組合連合会の事務所内に木造軸組住宅の構造躯体が展示されました！
ドアを開けてすぐ左の元会長室スペースいっぱいには延べ三坪ほどの部分展示が納められています。ケヤキの黒柱を中心に和室、床張り、縁側があり、軒桁から一部瓦屋根まで、狭いながら



日本間モデル（部分）

も本格的な住宅展示となりました。
この住宅展示は、「日本の木のいえ情報ナビ」で福島県の相談窓口になっている当県木連が木造住宅の本物の良さを理解してもらおうと「住宅分野における国産材需要拡大緊急対策支援事業」を活用して製作したものです。
○多種類の国産材を使用!!
木材はふくしま県産ブランド材「とつてお木」を使用し、柱にケヤキ



リフォーム博での展示全景

○職人さんの見事な仕事ぶりにも注目!!
住宅モデルは木組みで組み立てられ、くぎ等金物は使わない伝統的な工法で造られました。大工さん六人による息のあった見事な仕事で、県木連の事務所内につたつた一日で住宅モデルができました。
その他、建具には手仕事ならではのきめ細やかな欄間・書院・障子を入れ、畳も表はもちろん中身もすべて藁で



リフォーム博見学中

（大愚、杉、松、平角に杉、アカマツ、土台にクリ、松、床材に杉、アカマツ、クリ、サクラを使い、それぞれの風合いや質感の違いが確認できるようにしています。
また、通常では展示しない背割材も使用し、相談者に割れを見せて木材の特徴、経年変化を説明できるようにしています。
最初の展示は、三月三〜四日に郡山市のビックパレットで開かれた「うつくしま住まいのリフォーム博」で、イベント終了後に解体して、県木連の事務所の応接スペースに移動してきました。「うつくしま住まいのリフォーム博」では四〇〇名以上の来場者に見ていただき、「木の香りがする」、「木組みを初めて見た」、「こんな和室が一部屋ほしい」など、大変好評でした。

きた本床で柔らかく、耐震性・耐風性に優れた高品質な瓦を天井ぎりぎりまで乗せました。
どれも一流の職人さんが気合いを入れて作った良品で、一見の価値があります。
○移動展示にも対応!!
金物を使わず、伝統的な仕口と継ぎ手で組み上げているため解体が容易で、事務所内の展示にとどまらず、各地のイベントにも出展する予定です。

皆様もぜひ、当事務所へお越しいただき、国産材、とくにふくしま県産ブランド材の「とつてお木」の良さを体感してください。

○展示場所

福島市中町五一八

林業会館 一階

福島県木材協同組合連合会

※ぜひ、お気軽にお越しください!!

団体のページ

森林管理署メロ

国有林保護監視員活動
— ボランティアによる
保護監視活動の
協力者たち—

四〇万鈔を超える管理面積を持つ福島県内の国有林は、国内有数の山岳・湖沼・温泉等優れた自然景観に恵まれているとともに学術的・文化的に重要な森林や野生鳥獣の保護などの観点からも重要な箇所が多く、また、首都圏からのアクセスも比較的容易な地理的状況下であり、近年の国民生活におけるレクリエーションの多様化等により森林に憩いの場を求め、国有林野に入林する人々が増加の傾向にあります。

反面、ゴミの不法投棄や不審火等による林野火災の発生及び高山植物等の採取等も後を絶たない状況にあり、森林の保護管理は益々重要な課題となっています。

このような中、福島県内の森林管理署においても地方公共団体、森林組合、山岳関係団体、ボランティア



団体、自然保護関係団体等の機関から推薦を受けた指導力及び行動力に富んだ有識者二六五名（関東森林管理局管内では六四五名）に国有林野の保護監視を委嘱し、保護管理の一



▲全体会議の様相



▲分科会の様子

層の充実に努めているところです。福島森林管理署においても、国有林野保護監視員を委嘱してきたところですが、三年という委嘱機関が満了したため、今後の平成二五年までの三年間を六〇名に再度委嘱することとし、新規委嘱者八名を迎え六八名の協力による保護監視活動を充実すべく研修会を開催しました。

研修会では、昨年までの主立った活動内容として、

- 巡視回数…平均二〇回
- 主な巡視場所…吾妻山・安達太良山周辺
- 活動状況（代表的な行動）
- ①自主的な活動

- ② 利用者への指導
 - ゴミ・空き缶の回収、登山道等への安全対策
 - 登山マナーの注意喚起、植物や石等を採らないよう注意
- ③ その他
 - 登山道・歩道の荒廃、盗採・盗掘等の被害、ナラ枯れの発生が報告されました。

また、地域毎の分科会も開催し、さらに細かな内容に踏み込んだ国有林野保護監視員という立場で行える一般利用者への注意喚起、森林法違反者への対応等々同じ悩みを抱えながら対応してきた事案等を話しながら、個々の活動にフィードバックできるような、会議時間を忘れてしまうほどの熱心な意見交換がされました。

当日の様相や委嘱者については、翌日の新聞掲載等により報道され、読者の方から「新聞で存在が分かったのですが、どうすれば、国有林野保護監視員になれるのか？」といった内容の質問が福島森林管理署に寄せられました。一般の方々の森林環境への関心の高さが感じ取られる一方、委嘱された国有林野保護監視員も、より一層自覚と責任をもった行動、毅然とした対応が森林利用者に求められている活動であることを再認識できました。



絆を強める伝統の祭り

四月に入り、柔らかな陽射しが続く様になると、浜、中通りに続き、会津地方の水田地帯ではトラクターや軽トラックがコマ鼠のように走り回り、農村は春の農繁期に入る。

ところで、二月十九日に棚倉町の『八槻都々古別(やつつきつこわき)神社』で厳かに行われた『御田植祭』の撮影に出掛けた。町の資料によると祭りの伝来時期は明確ではないが、形態などから室町時代以前に溯り、約四〇〇年以上続く伝統の行事と記されていた。

私は二〇数年前に四年程棚倉町に住んでいたが御田植祭を見る機会が無かった。理由は昔から祭りの日が旧暦の二月六日と決まっていた、休日と合わなかったからである。

『御田植祭』は、豊作を祈って神楽を奉納する祭礼で、正面一〇・八、奥行き五・四の拝殿において、稲作風景がユーモラスな舞いと掛け合いにより演じられる。舞いは能狂言風の所作による田遊びで、国の重要無形文化財に指定された由緒正しいお祭りである。

当日は甘酒とお神酒が振る舞われ、招待客や参拝者、カメラマンなどで賑わっていた。

祭りは宮司の祝詞奏上に続いて、楽人による舞い「神楽(松舞、巫女舞、幣舞)」、「せき検分」、「めばらい」、「田うない触れ」、「田うない」、「くろば落とし」、「水取り」、「代かき」、「畔ぬり」、「あしおとめ」、「お種祈禱」、「種蒔き」、「鳥追い」、「田植え触れ」、「田植え」、「水口祭り・天狐の舞い」、「中昼(飯)と進み、最後に楽人全員で「中飯中飯」と言いつつ、切り餅が参列者へ投げ配られ、約一時間半に及んだ舞いが終わった。祭りが終わると農家は稲作に向けた準備などで忙しくなる。

祭りに使われた餅餛「もちくわ」は、餅ににわたこの枝を刺して餛に見立てたもので、中飯の細い切り餅は実に美味しかったし、舞いも大昔の稲作の様子が分かり楽しかった。

昔の稲作は水の管理や春秋の農繁期の結(労力交換)等があったので、神前で娯楽を兼ねて住民相互の連帯感を確認する催しと見たが、今日の農村社会では絆が弱まり、営農への支障が懸念されるので、祭りなど絆を強める催しと機会を増やす事を提案する。 佐藤徹風

表紙の横顔



出番待ち

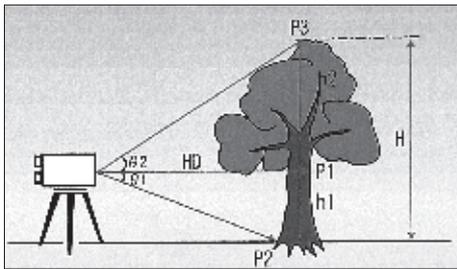
第6回ふくしま森林・林業写真コンクールで入選となった小林正義さん(石川町)の作品。

編集

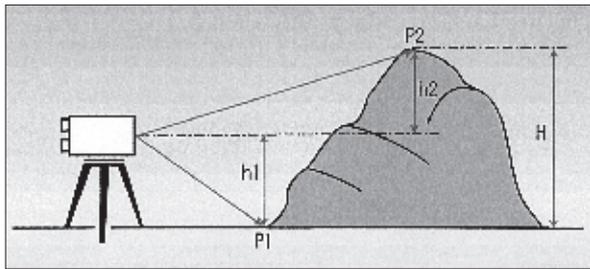
福島県内四森林管理署
福島県林業協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県緑化推進委員会
福島県農林種苗農業協同組合
福島県農林業公社
森林総合研究所福島水源林整備事務所
福島県林業協同組合
福島市中町五番一八号県林業会館内
発行人 陽光社印刷株式会社
発行 渡辺卓
(定価 六三円)

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

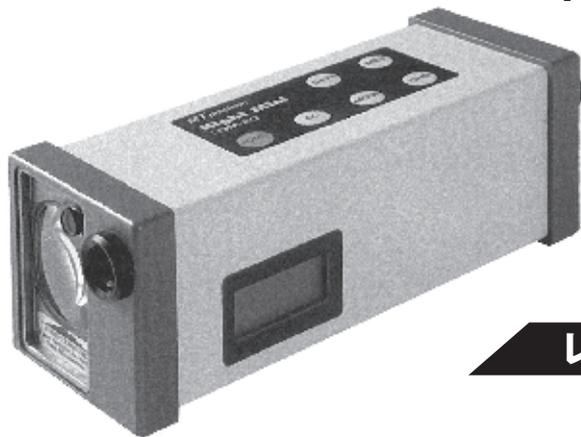


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定法	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

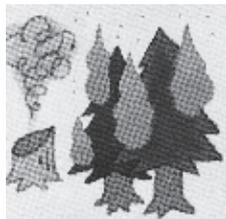
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



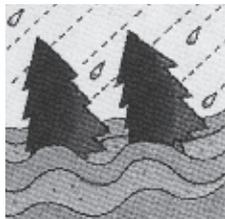
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



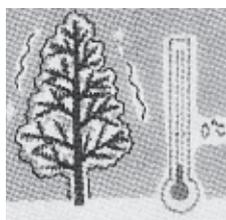
4 雪害

大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《ご相談・お申し込みは》

◆森林組合

◆森林組合連合会

福島県農林水産部森林整備課

☎ 024-521-7430

イワフジのプロセッサ

GP-35V プロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を迫及したプロセッサ



Simple Processor
MODEL : GP-35V



- 高耐久性を迫及したフレームとトンク
- 大容量ソーモータの採用による優れた切断力
- カッタ押し付けはシンプルなスプリング式
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラブ作業
- 高速コンピュータ GP-7 による精度の高い安定した測尺
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク

ランニングコストに優れたシンプルプロセッサ

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・グラブリングシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・ラジキャリーシリーズ



イワフジ工業株式会社

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!
詳しくは当社ホームページをご覧ください www.iwafuji.co.jp

Yashima
豊かな緑を次代へ

自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生動物から大切な 植樹木を守る

ツリーセーブ
ヤシマレント

盗みされ防止

ハチノックL (網隠し)
ハチノックS (携帯用)

大切な日本の松を守る ヤシマの林業薬剤

ヤシマミバイン乳剤
ヤシマミバインMC
グリーンガードエイト
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートSC
マツグリーン液剤2

くん蒸用生分解性シート

ちゅらシート (茶・白)
NCSシート (透明)
与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリアバック使用)



ヤシマ産業株式会社

本社 〒104-0045 東京都中央区築地1丁目9-6 アロア築地ビル2F TEL.03-5565-3161(代) FAX.03-5565-3164
東北営業所 〒994-0061 山形県天童市東芳賀2-1-1 (協友アグリ(株)内) TEL.023-655-2969 FAX.023-655-4449

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

排気量 **18.3cm³**

世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



G2000T EZ-START
20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm³**

さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



G4211EZ EZ-START
40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを
追求したハンドルと
思いのアクセルワークが
可能なトリガーレバー。



BC2711DW1-EZ
・防振ハンドルブラケット
・トリガーレバータイプ
チップソー ¥79,380(税込)
笹刈刃 ¥78,330(税込)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1